

# 平成30年度予算見積調書

課室名: 森づくり課  
 担当名: 間伐・森林循環担当  
 内線: 4321 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B74	(公社) 埼玉県農林公社森林整備事業助成費			一般会計	農林水産業費	林業費	県営林費	埼玉県農林公社助成費	
事業期間	昭和59年度～平成75年度	根拠法令	なし			宣言項目			
						分野施策	051245 みどりの保全と再生		
<b>1 事業の概要</b> 県は、農林公社を造林・保育事業の中心的な担い手として位置付け、分収林事業等による森林整備を推進している。農林公社は森林整備に関する豊富な技術力や知識を有するとともに、県内の森林状況に精通していることから、今後、引き続き分収林事業等によって森林整備を行い、森林資源の充実と森林の持つ公益的機能の発揮を図る役割を担っていく必要がある。このため、県は農林公社が行う森林整備に対し支援を行うものである。  (1) 貸付金 305,335千円 (2) 分収林現況調査支援事業 17,306千円 (3) 事務費 316千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 貸付金 305,335千円 事業費や給与費等の管理費及び(株)日本政策金融公庫償還金の貸付を行う。また、貸付金の運用により公社の一時的な資金不足に備えることで安定的な経営を支援する。 イ 分収林現況調査支援事業 1式 17,306千円 獣害発生地等の成林が見込めない分収林の仕分け作業に要する現地調査業務の支援 ウ 事務費 1式 316千円  (2) 事業計画 (社)埼玉県農林公社改革プランにおいて、平成75年度末には経営の黒字化を見込む長期収支予測を立てており、現在その達成に向けて経営改善の取組を実施している。  (3) 事業効果 ア 県民が豊かで安全な水の供給を受けるために不可欠な水源のかん養や土砂災害の防止など県民生活を広く支える森林の持つ公益的機能の発揮 イ 県貸付金の無利子化による農林公社の経営改善 ウ 将来の県財政負担の最小化  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 企業・団体等が社会貢献として森林整備を実施する際の土地所有者等とのコーディネートや計画策定の支援、造林・保育等の技術支援を重点的に実施しており、企業・団体、学校等の森づくりを進めている。					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 公益社団法人埼玉県農林公社 (県10/10)事業者0									
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(単位費用) (区分)林野行政費 (細目)森林整備保全費 (細節)森林整備保全費 特別交付税(省令第2条第1項事項54) 林業公社に対する利子補給等に要した経費									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×0.2人=1,900千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	322,957							322,957	43,871
前年額	279,086							279,086	